

皮膚アレルギー疾患のbreakthrough

特集にあたって：皮膚アレルギー疾患のbreakthrough

.....大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学講座教授	片山 一朗
皮膚免疫アレルギーの研究：breakthrough 2018	戸倉 新樹
蕁麻疹治療のパラダイムシフト.....広島大学大学院医歯薬保健学研究科皮膚科学教授	秀 道広
食物アレルギーと口腔アレルギー症候群	
.....藤田保健衛生大学医学部講座外部総合アレルギー科教授	矢上 晶子
接触皮膚炎の改訂診療ガイドラインの展望	
.....東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野教授	横関 博雄
アトピー性皮膚炎の治療：バリア異常と分子標的薬の接点	
.....大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学講座准教授	室田 浩之
重症薬疹診療のピットフォール.....杏林大学名誉教授	塩原 哲夫
膠原病治療のニューフェースと新規ガイドライン	
.....福井大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学研究室教授	長谷川 稔
皮膚血管炎をどう診断し治療するか.....目黒陳皮膚科クリニック院長	陳 科榮
乾癬新規治療薬の日常診療での位置づけ.....高知大学医学部皮膚科学講座教授	佐野 栄紀
自己免疫性白斑の新しい病因論と治療	
.....大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学講座教授	片山 一朗
皮膚免疫アレルギー疾患の治療戦略：breakthrough 2018	
.....東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学皮膚科学分野教授	相場 節也

編集後記

本号では神経難病である「多発性硬化症」について、金沢医科大学の松井真先生に特集を立案いただいた。多発性硬化症は現時点で根治療法はなく、国の指定難病の1つであるが、近年腸内細菌の異常が発症にかかわる可能性が示されている。肥満やアレルギー、喘息、精神疾患など腸管以外の疾患においても腸内細菌叢の乱れや多様性の減少が指摘されており、腸内細菌はテレビなどのメディアでも大きく取り上げられる医療トピックスである。国立精神・神経医療研究センターの研究では、多発性硬化

症の患者(再発寛解型20名)は腸内細菌の中のカロシウム属細菌が著しく少ないことが報告されており、この腸内細菌群の異常を是正することで、予後改善・発症予防につながる可能性があるとしている。腸内細菌叢の異常はファストフードの普及など食生活の西欧化や、冷蔵庫の普及とそれに伴う発酵食品の衰退に起因するとも言われている。利便性の向上には文明病という対価が伴うことも肝に銘じる必要があるのかもしれない。(H)

Pharma Medica

ファルマ メディカ

Vol.36 No.3 2018.3

2018年3月20日発行

定 価 (本体1,700円+税：送料実費)

年間購読 (本体20,400円+税：送料当社負担)

発行者 松岡 光明

発行所 **メディカルレビュー社**

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-8 淀屋橋MIビル
TEL 06-6223-1468(代)

Pharma Medica編集部 TEL 06-6223-1556

販売部 TEL 03-3835-3049 FAX 03-3835-3075
e-mail sale@m-review.co.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル
TEL 03-3835-3041(代)

振替口座 大阪6-307302

http://www.m-review.co.jp

印刷 株式会社中島弘文堂印刷所

広告取扱店 メディックスエージェンシー TEL 080-5421-3501

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)・上映・譲渡に関する許諾権は(株)メディカルレビュー社が保有しています。

・**JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(TEL 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mailinfo@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・乱丁・落丁の際はお取り替えいたします。